

# 呼吸器外科専攻医研修カリキュラム

## 1 研修目標

外科医師として必要な基礎知識や技術を習得するとともに、呼吸器外科医として必要な専門的知識ならびに技術を研修する。

## 2 研修内容

### 1) 病棟業務の遂行

指導医の指導下に、担当医あるいは受持医として上級医と相談しながら患者の診療に当たり各々の疾患について知識・技術を深める。

- ・ 患者に対して問診・理学的所見をとる。
- ・ 患者の検査計画を立案し、その検査結果に基づく術式を決定する。
- ・ 術前術後管理の説明をする（説明時の立ち会い・手順と内容の理解）。

### 2) 主な呼吸器疾患の理解

- ・ 呼吸器疾患に必要な解剖・病態生理・病理を理解する。
- ・ 呼吸器疾患の病因，病態，疫学に関する知識を習得する。

### 3) 呼吸器疾患に必要な診断法を習得し，治療方針を理解・決定する。

- ・ 胸部単純X線写真，CT，MRI，血管造影，FDG-PET等の画像診断を行う。
- ・ 血液ガス分析，肺機能検査，肺シンチグラフィ等の結果を解釈する。
- ・ 気管支鏡，胸腔鏡，超音波気管支鏡，等の内視鏡診断を行う。
- ・ 組織学的診断を理解し，病期に応じた治療方針を決定する。

### 4) 呼吸器外科疾患に必要な緊急時対応を行う。

- ・ 気道出血に対する気管支鏡的な診断，処置。
- ・ 気胸，血胸に対する胸腔ドレナージ。
- ・ 気道狭窄・閉塞，胸部外傷に対する知識。

5) 基本的な手術・周術期管理の理解と実践

- ・ 基本的手術を安全に施行する。

基本手技	開胸・閉胸
肺癌	肺葉切除術および縦隔廓清術 肺区域切除術 肺部分切除術
気胸	肺部分切除術
胸腺腫	胸腺胸腺腫摘出術
縦隔腫瘍	縦隔腫瘍摘出術 等

- ・ 術前後の呼吸リハビリの実施，指導を行う。
- ・ 術後合併症の予防・早期発見・対処を遅滞なく行う。
- ・ 他診療科との連携を円滑に施行する。

6) 学術活動（症例検討会・学会発表・論文作成）

- ・ 症例検討会における担当症例の提示と質疑応答、症例報告（地方会）。
- ・ 多数症例の検討報告（地方会・総会）、症例報告の論文作成。

### 3 週間スケジュール

- ・ 病棟回診：月～金 午前（8時～9時）、午後（16時～17時）の2回
- ・ 手術：4回/週
- ・ 術前カンファレンス：火 12：00～
- ・ 気管支鏡検査：木曜日
- ・ 呼吸器カンファレンス 2回/月
- ・ 愛媛大学放射線科との合同カンファレンス 1回/3月

### 4 自己評価、指導医による評価

- 1) 自己評価：日本外科学会、日本胸部外科学会認定専門医の申請資格要項に準じて経験症例、手術症例を記録し、到達度を自己評価する。
- 2) 指導医による評価：半年に1-2度、部長面接を受け、上司からの評価、目標設定、進路相談などを行う。